

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 29 年度 第 5 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 29 年 11 月 13 日 午後 6:30～午後 8:40
- 2.開催場所 東京大学工学部本郷キャンパス 14 号館 3 階 321 セミナー室
- 3.理事総数 13 名
- 4.出席者数 6 名（書面表決書 4 名）
出席者（山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、池上孝則、小林均、比嘉正樹 敬称略）
書面表決書（前河洋一、森川貞夫、岩山海渡、鈴木良雄 敬称略）
- 5.議長選任 議長として山西哲郎氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前回理事会（9 月 11 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として宇佐美彰朗と池上孝則氏が選出された。
- 第 3 号議案 各種ランニング教室について
保原氏より実施状況について報告があった。
- J S I E マラソン完走教室
毎回コアメンバー中心の 2～4 名の参加者で推移している。
マラソンシーズンに入ったので今後増加するものと考えている。
- 熟年ランニングスクール
通期メンバー 11 名に加え O B の単発参加もあり活況を呈している。
- 第 4 号議案 2017 メルボルンマラソンについて
保原氏より実施状況等について報告があった。
参加申込人数は 92 名で昨年より 15 名程度の増加となり、ホテル代を負担しなければいけなくなるなど厳しい契約条件にもかかわらず収支状況はトントンだった。現在、精査中である。
新しい展開としては、男子では従来の富士山マラソン入賞者に加え、元旭化成の八木選手が参加、女子では手賀沼マラソンの入賞者が参加した。
その結果、マラソンでは男子が 7 位、女子が 10 位、ハーフマラソンでは男子が 2 位、女子が 4 位など好成績を残すことができた。
一般でも女子年代別 65－69 の部で優勝者が出た。
交流イベントは今年も現地の方にご協力いただき、いずれも好評だった。今年はマラソンを走らなかったご家族の方の参加があったのが新しい動きである。
来年の開催日は 10 月 14 日(日)に決定し、大会本部の HP では今週ははじめから募集を開始しているので、日本事務局としても早めに募集を開始できるように準備を開始した。

第5号議案

国際交流パーティについて

保原氏より、どなたからも実行責任者になっていただける旨連絡がなかったため、前回審議内容の通り、本年度は残念ながら中止する事になったとの報告があった。

次年度以降、もし体制が整ったならば、何らかの形で再開しようということになった。

第6号議案

ジャンブローネ氏のエリートランナー育成シンポジウムについて

保原氏より、来日中の杉田さんを通じて得られたイタリア・トスカーナキャンプのジャンブローネ氏からの情報について説明があった。

ジャンブローネ氏としては、当協会の招聘に応じて来日するというスタンスだとのことなので、そのことを前提条件として今後の活動をすることにしたい。

ついては、まずは興味を持ってくれそうな指導者、選手など関係者に参加希望の有無を打診するための資料を保原氏が作成することになった。

開催時期としては、3月後半あたりを目標にしたい。

当面、スズキ浜松ACの菊地代表代理、ルートインホテルズの藤川監督や今回メルボルンマラソンに参加した元旭化成の八木選手などにあたってみて、興味を持って頂けそうな指導者、選手を紹介してもらおう。メディアとしては静岡朝日テレビや日刊スポーツに相談してみる。

また、7月末にカネボウの高岡監督がトスカーナキャンプを訪れ、ジャンブローネ氏と会談しているため、その時の感想を山西理事長に確認していただくことになった。

なお、具体化した時点では陸連やランニング学会など関連団体にも協力をお願いすることになった。

また、杉田さんから再度要望のあった市民ランナーによるツアーについては、山西理事長が個人的に実施することになっているとのことなので、当協会としては実施しないことになった。

第7号議案

今後の協会運営について

比嘉氏および山西理事長から下記の提案があった。

■比嘉氏提案

①生涯スポーツ支援をテーマに「ワールドマスターズゲームズ 2021」に向けて取り組む

- ・事務局との連携
- ・参加者、ボランティアの支援
- ・情報発信

②SNSやホームページ、youtubeを活用した情報発信の強化

- ・全国で特派員を募集して情報を募る
- ・全国マラソン情報（ランネットとの差別化を図り、交流をテーマとした大会に絞る）

③笹川スポーツ研究助成への応募

ジャンルとしては「スポーツとまちづくりに関する研究」とし、ここ数年JSIEが取り組んできたマラソン国際交流や全国的なマラソンデータを収集することにより、まちづくりに貢献するような研究内容とする。

当面、募集締切の11月30日に間に合うように、比嘉氏が応募資料を作成する。

■山西理事長提案

下記内容で「市民スポーツの国際交流に関する」フォーラムを開催する。

(目的) 2019 ワールドラグビー、2020 東京オリンピック、パラリンピック、2021 ワールドマスターズが開催されるのを機に、市民参加型のスポーツとは何かを考える。

(対象者) 市民、市民スポーツの指導者・研究者

(関係団体) スポーツプログラマー認定指導者(生涯スポーツ担当)、ランニング学会、レクスポーツ団体、ワールドマスターズ関係団体

(開催場所) 立正大学品川校舎

(開催回数) 年に3回～4回

(参加人数) 20～50名程度

(提案発表者) 市民スポーツ(障がい者スポーツも含む)の指導者、リーダー、研究者、在日外国人スポーツパーソン等

(参加費) 1,000円程度

(実施方法) フォーラム準備委員会を本協会の理事が中心になって設立して検討する。

第8号議案 その他

■懇親会の開催について

現時点での参加予定者は7名。

案内の通り、11月29日(水)は懇親会に先立ち17時～18時に今後の協会運営について話し合いを行い、その後18時30分から懇親会をはじめる。

30日(木)は朝食後解散。

■北海道マラソンの日程について

共催者である「NPO法人ランナーズサポート北海道」の小山事務局長から、会場である中島体育センターの来年度予定決定が早まったので、11月14日(火)迄に日程を決定して欲しい旨連絡があった。先方の要望も踏まえ討議した結果、下記に決定した。

①5月27日(日)、②6月24日(日)、③7月29日(日)、④8月25日(土)

■次回理事会について

次回理事会は12月21日(木)の18時30分から東京大学工学部14号館で開催することになった。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時40分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成 29 年 11 月 13 日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議 長 山西 哲郎 

議事録署名人 宇佐美 彰朗 

議事録署名人 池上 芳則 